

平成 28 年 4 月 21 日 (木)
午後 3 時 30 分
第 4 委員会室(中層棟 4 階)

吹田市総合教育会議

次第

1 これからの吹田の教育について

2 その他

配付資料

資料 1 吹田の教育に関する分析

吹田の教育に関する分析

吹田の教育の現状を「強み (Strength)」、「弱み (Weakness)」、「機会 (Opportunities)」、「脅威 (Threats)」の4つのカテゴリから評価する SWOT 分析を用いて、評価しました。

内 部 環 境 (学 校 教 育)	強み (Strength)	弱み (Weakness)
	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの学力 (平均点) が高い ・全小学校に小プールが設置 ・幼小中一貫教育の取組 ・学校の教育研究組織体制の充実 ・取組や成果を発表する場が多い ・小学校英語教育の充実度合 ・読書活動支援員配置による学校図書館の活用機会の増加 ・子どもを対象とした体験活動の場の多様さ 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの泳力が高い ・臨海学習の取組 ・市独自の副読本の作成 ・課外クラブ、部活動がさかん ・SC、教育相談員の派遣による学校支援 ・SSW の派遣による学校支援 ・総合教育会議開催による市長事務局との連携
外 部 環 境	機会 (Opportunities)	脅威 (Threats)
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が良いなど、働きざかりが生活しやすい住環境 ・エキスポシティ (OEV) や、吹田市立スタジアム、「健都」など教育につながる新しい施設の増加 ・市内に 5 大学と大学の数が多く、大学連携がさかん ・出前講座などによる学習事業 ・余裕教室を利用した生涯学習拠点の提供 ・青少年関係団体を核とした地域での活動 ・太陽の広場が全ての小学校にある ・職員の専門性を生かしたスポーツ関連事業の展開 ・市民の期待の高さ ・幅広い世代のニーズに対応した図書館サービスの提供 ・地域の人材が豊富 ・青少年団体の協力・支援 ・公園や緑が多い ・体育館・図書館の充実 ・青少年相談の拠点施設がある ・地域に開かれた大学がある ・幅広い図書館サービスの充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代の増加による、こどもの数の増加 ・旧中西家住宅など文化財施設の活用 ・夢つながり未来館での中高生の居場所提供 ・自然体験施設の充実 ・公共施設を活用した高齢者の居場所の提供 ・留守家庭児童育成室と放課後子ども教室事業の連携 ・スポーツ施設利用料の改定 ・専門職が多い ・図書館ネットワークを利用したあらゆる分野の業務への資料提供 ・地域との結びつきが強い ・生活環境が良い ・色々な施設が身近にある ・青少年に対する多様な自立支援のための相談窓口の設置 ・市民が参画するイベント・展示等が多数ある ・専門職による専門相談が可能 ・P C ・スマホによる図書館情報の提供